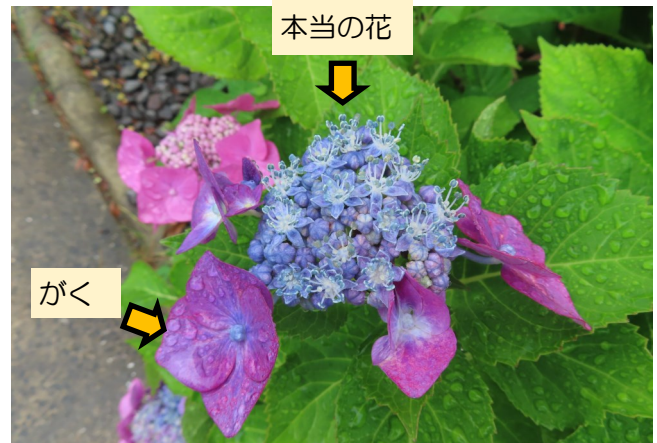


紫陽花(アジサイ)

長崎市の花が紫陽花(アジサイ)ということは知っていますか。この季節になると色とりどりの花を咲かせ、人々を楽しませてくれます。

ところで、アジサイの花びらのように見えるところはホントは花びらではないのは知っていますか？花びらのように見えている部分、じつは「がく」なのです。では、ホントの花(真花)はどこかということ、写真の中央部なのです。面白いですね。



花の色はどのように決まる？

アジサイの花の色は青や赤、紫など様々です。「青や赤の花の色が決まるのは土の状態が酸性か、アルカリ性かで決まる。」とよく言われます。

最近では、アジサイの花の色のもとになる「アントシアニン」という色素が、土に含まれるアルミニウムと反応して青色になると説明されています。アルミニウムをよく吸収したものは青色に、吸収しなかったものは赤色になるそうです。小学校6年生の水溶液の授業で、アルミニウムの溶け方を学習しますが、アルミニウムは酸性とアルカリ性の水溶液ではどちらによく溶けたのでしょうか？このことから、青色のアジサイの土は酸性、アルカリ性のどちらでしょうか？リトマス紙で調べられるのでしょうか？

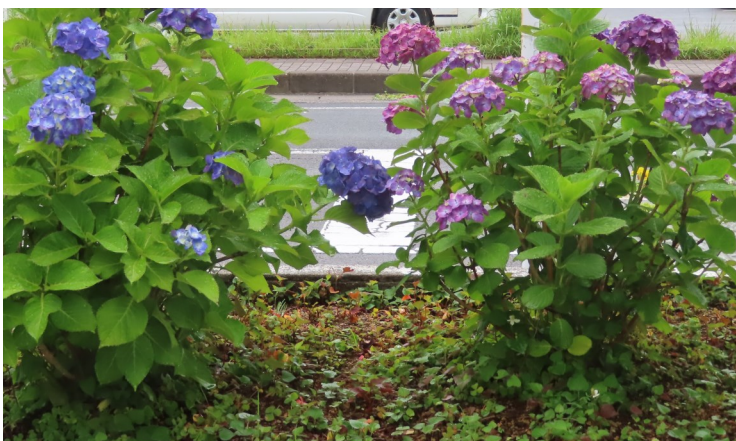
ちなみに、白色のアジサイはもともと「アントシアニン」の色素をもっていないそうです。

最近、不思議に思うこと

同じ場所に、青い花と赤い花・・・

土の状態はどのようになっているのでしょうか？

さて、みなさんはどう説明しますか？



今年の夏至(げし)は6月21日です。

夏至は昼が最も長くなる日として知られています。昼が最も短い冬至(とうじ)と比べて、長崎市では約4時間も違うそうです。どうして、夏と冬では昼の長さが増えるのでしょうか？

このことは中学3年生で学習するのですが、興味を持った人はひと足先に調べてみましょう。